

# 運用報告書（全体版）

第23期

（決算日 2023年10月16日）

## J A 海外債券ファンド

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「J A 海外債券ファンド」は去る10月16日に第23期の決算を行いましたので、期中の運用状況等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	J A 海外債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、当社が円ベースに換算したFTSE世界国債インデックス（除く日本）を上回る投資成果を目指します。	
主運用対象	ベビーフンド	J A 海外債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、日本を除く世界各国の公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーフンド	J A 海外債券マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年10月16日（休業日の場合は翌営業日）に諸経費等を控除後の利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ※＜分配金再投資（累積投資）コース＞の場合、税引き後の分配金は、自動的に無手数料で再投資されます。	

運用状況に関する問い合わせ窓口  
（フリーダイヤル）0120-439-244

<受付時間> 営業日の午前9時から午後5時まで  
<https://www.ja-asset.co.jp/>



農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス		騰落率 差異状況	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税 配 金	込 金 期 騰 落 率	(除く日本、当社 円換算ベース)	期 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
19期(2019年10月16日)	14,073	100	4.4	118,015.85	5.3	△1.0	95.9	—	263
20期(2020年10月16日)	14,521	40	3.5	124,227.76	5.3	△1.8	93.6	—	255
21期(2021年10月18日)	15,096	0	4.0	130,873.66	5.3	△1.4	96.1	—	251
22期(2022年10月17日)	15,030	0	△0.4	131,462.19	0.4	△0.9	97.7	—	214
23期(2023年10月16日)	15,379	130	3.2	137,191.43	4.4	△1.2	97.8	—	190

(注1) 分配金があった場合、基準価額の期中騰落率は分配金込みです。

(注2) FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。当ファンドの運用にあたっては、同インデックス (米ドルベース) をもとに、FTSE Fixed Income LLCの承諾を得たうえで、当社が独自に円換算したものを採用しています。当ファンドの基準価額は組入有価証券の前営業日の時価を基に計算されることから、同インデックス (米ドルベース) は、前日の値を採用しております (以下同じ)。

(注3) 騰落率差異状況=基準価額期中騰落率-FITSE世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース) 期中騰落率

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率 (=買建比率-売建比率) は、実質組入比率を記載しております (以下同じ)。

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス		騰落率 差異状況	債券 組入比率	債券 先物比率
	騰落率	(除く日本、当社 円換算ベース)	騰落率				
(期首) 2022年10月17日	円	%		%	%	%	%
	15,030	—	131,462.19	—	—	97.7	—
10月末	15,347	2.1	134,355.58	2.2	△0.1	98.0	—
11月末	14,881	△1.0	130,450.45	△0.8	△0.2	97.9	—
12月末	14,154	△5.8	123,946.18	△5.7	△0.1	97.3	—
2023年1月末	14,308	△4.8	125,559.37	△4.5	△0.3	96.8	—
2月末	14,472	△3.7	126,903.60	△3.5	△0.2	97.2	—
3月末	14,630	△2.7	128,532.24	△2.2	△0.4	96.9	—
4月末	14,730	△2.0	129,370.93	△1.6	△0.4	97.2	—
5月末	15,074	0.3	132,829.02	1.0	△0.7	96.7	—
6月末	15,660	4.2	138,284.07	5.2	△1.0	98.1	—
7月末	15,307	1.8	135,228.01	2.9	△1.0	97.6	—
8月末	15,712	4.5	138,880.06	5.6	△1.1	96.6	—
9月末	15,463	2.9	136,810.50	4.1	△1.2	98.2	—
(期末) 2023年10月16日	15,509	3.2	137,191.43	4.4	△1.2	97.8	—

(注1) 分配金があった場合、期末基準価額は分配金込みです。

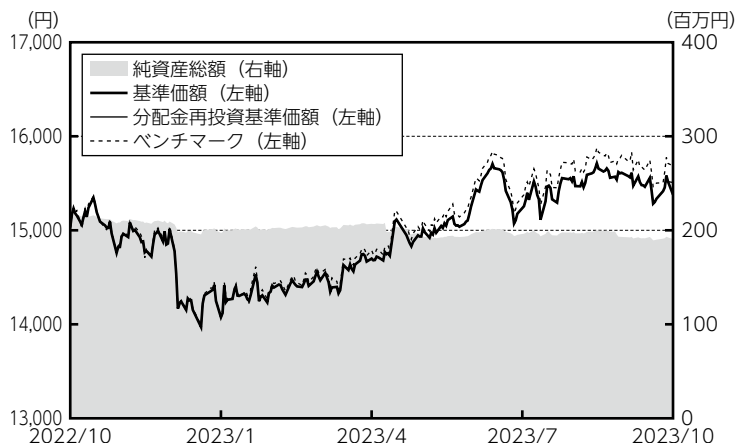
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 騰落率差異状況=基準価額騰落率-FITSE世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース) 騰落率

## 《運用経過》

【当期中の基準価額等の推移について】

(第23期：2022年10月18日～2023年10月16日)



第23期首 : 15,030円  
第23期末 : 15,379円  
(既払分配金 130円)  
騰落率 : 3.2%  
(分配金再投資ベース)

- ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）です。FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。当ファンドの運用にあたっては、同インデックス（米ドルベース）をもとに、FTSE Fixed Income LLCの承諾を得たうえで、当社が独自に円換算したものを採用しています。当ファンドの基準価額は組入有価証券の前営業日の時価を基に計算されることから、同インデックス（米ドルベース）は、前日の値を採用しております（以下同じ）。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

### 【基準価額の主な変動要因】

基準価額は、期首15,030円で始まり、期末15,509円（分配金込み）となり、騰落率は3.2%の上昇となりました。

デュレーション調整、国別配分、イールドカーブ調整、通貨配分および信用セクターにおいて分散した投資を行い、リスクを管理しつつ超過収益の獲得に努めました。

各国長期金利が上昇（債券価格が下落）したことがマイナスに寄与したものの、ドルやユーロなどに対して円安が進行したことがプラスに寄与しました。

## 【投資環境について】

(第23期：2022年10月18日～2023年10月16日)

### □海外債券市況

米国10年国債利回り（以下「米国長期金利」という）は、期首から期末にかけて上昇しました。

期首から2022年12月上旬にかけては、予想対比較調な米国物価指標や、ハト派な11月米連邦公開市場委員会（以下「FOMC」という）議事要旨やパウエル米連邦準備制度理事会（以下「FRB」という）議長の発言を受けた利上げペース減速期待を背景に米国長期金利は低下しました。12月中旬から2023年1月下旬にかけては、日欧長期金利の上昇を背景に米国長期金利は上昇する場面もあったものの、軟調な米国経済指標や円長期金利の低下を背景に横ばい圏で推移しました。2月上旬から2月下旬にかけては、予想対比較調な米国経済指標やFRB高官によるタカ派な発言を背景に米国長期金利は上昇しました。3月上旬から3月下旬にかけては、労働需要の緩和が示唆された米国雇用指標や米欧銀行セクターを巡る金融システム不安に加え、ハト派な結果となった3月FOMCを背景に米国長期金利は低下しました。4月上旬から5月下旬にかけては、堅調な雇用環境や消費動向を背景とした利上げ観測の高まりや、債務上限問題にかかる楽観的な見通しを背景に米国長期金利は上昇しました。6月上旬から7月下旬にかけては、インフレ鈍化と共に景気減速が意識される中、年内複数回の利上げを織り込む動きに左右されながら、米国長期金利は上昇しました。8月上旬から期末にかけては、堅調な米国経済指標に加え、米国債の格下げや米国債発行計画の増額、原油価格の上昇、9月FOMCにおいて経済・物価見通しの引き上げや来年の利下げ回数予測の下方修正が行われるなどタカ派な内容となったことを受けて米国長期金利は上昇しました。

ドイツ10年国債利回り（以下「独国長期金利」という）は、期首から期末にかけて上昇しました。

期首から2022年11月下旬にかけては、10月の欧州中央銀行（以下「ECB」という）理事会がハト派な結果と受け止められたことや予想対比較調な欧州物価指標を受けて独国長期金利は低下しました。12月上旬から12月下旬にかけては、12月ECB理事会がタカ派な内容となったことや12月日銀金融政策決定会合での政策修正を受けた長期金利上昇を背景に独国長期金利は上昇しました。2023年1月上旬から1月中旬にかけては、利上げペース減速の観測報道を受けて独国長期金利は低下しました。1月下旬から2月下旬にかけては、ECB高官によるタカ派な発言や予想対比較調な欧州経済指標を受けて独国長期金利は上昇しました。3月上旬から3月下旬にかけては、米欧銀行セクターを巡る金融システム不安を背景に独国長期金利は低下しました。4月上旬から期末にかけてはECBによる利上げが継続する中で、米国長期金利の上昇や欧州債の旺盛な発行を受けて独国長期金利は上昇しました。

### □為替市況

ドル／円は、期首から期末にかけて円安・ドル高となりました。

期首から2023年1月下旬にかけては、景気減速を示唆する米国経済指標の発表を受けた米国長期金利の低下や、日銀が2022年12月金融政策決定会合において長期金利の許容レンジ拡大を決定したことなどを受けて円高・ドル安となりました。2月上旬から2月下旬にかけては、米国長期金利の上昇や、日銀の次期総裁候補であった植田氏が金融緩和を継続する意向を示したことを背景に円安・ドル高となりました。3月上旬から3月下旬にかけては、米地銀の経営破綻に端を発した金融システム

不安の波及から為替相場がリスク回避の動きとなる中、ハト派な結果となった3月FOMCを受けた米国長期金利の低下を背景に円高・ドル安となりました。4月上旬から期末にかけては、日米金融政策格差が意識される中で米国長期金利が上昇したことを背景に円安・ドル高となりました。

ユーロ/円は、期首から期末にかけて円安・ユーロ高となりました。

期首から2023年1月上旬にかけては、予想対比軟調な米国物価指標を受けて各国中央銀行による金融引き締め姿勢の緩和期待が高まり、主要通貨に対して円が強含んだことに加えて、日銀が2022年12月金融政策決定会合において長期金利の許容レンジ拡大を決定したことを受けて円高・ユーロ安となりました。1月中旬から2月下旬にかけては、日銀の1月金融政策決定会合がハト派な内容となったことや複数のECB高官によるタカ派な発言を背景に円安・ユーロ高となりました。3月上旬から3月下旬にかけては、欧州銀行セクターを巡る金融システム不安を受けて円高・ユーロ安となりました。4月上旬から期末にかけては、日欧金融政策格差が意識される中で独国長期金利が上昇したことを背景に円安・ユーロ高となりました。

### 【ポートフォリオについて】

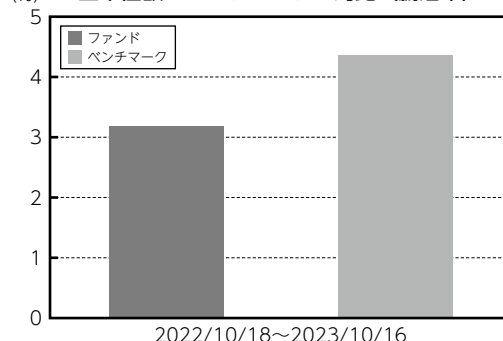
当ファンドは、J A海外債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。J A海外債券マザーファンドは、日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）を上回る投資成果を目指します。J A海外債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ウエリントン・マネージメント香港リミテッドおよびウエリントン・マネージメント・インターナショナル・リミテッドに委託しています。

当期の運用におきましては、J A海外債券マザーファンドに95%以上投資しました。

### 【ベンチマークとの差異要因について】

ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）との比較では、ベンチマークの騰落率+4.4%に対して、1.2%下回りました。J A海外債券マザーファンドにおけるベンチマーク対比パフォーマンスは+0.2%となっており、当ファンドとマザーファンドとの格差-1.4%に関しては、信託報酬要因が主因となっております。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 【分配金について】

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して、1万口当たり130円（税込み）とさせていただきます。

なお、収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し元本と同様の運用を行っております。

## ■分配原資の内訳 (1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2022年10月18日 ～2023年10月16日
当期分配金 (円)	130
(対基準価額比率：%)	0.838
当期の収益 (円)	130
当期の収益以外 (円)	－
翌期繰越分配対象額 (円)	5,413

(注1) 「対基準価額比率」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注3) 分配金は、決算日から起算して5営業日までに販売会社より支払いが開始されます。

(注4) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

(注5) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

分配が行われた場合、＜分配金再投資（累積投資）コース＞をご利用の方は、税引き後の分配金が各決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資されます。

## 《今後の運用方針》

構造的な高インフレ、緩やかな景気減速、各国中銀の一段のハト派姿勢を背景に、主要国のイールドカーブはスティープ化すると見えています。短期金利は景気減速に連動し、長期金利は根強いインフレ圧力に反応すると想定しますが、経済成長の再加速やインフレ率の更なる上昇はこの見通しのリスクです。また、足許の急速かつ大幅な利上げの影響によって、金融環境の更なる引き締まりが進み、金融不安につながるリスクが高まっています。リスクが顕在化した場合には、資産クラスとしての債券のトータルリターンはプラスとなる可能性があります。一方で日本では、民間部門の賃上げ動向にかかる前向きな変化、堅調な日本経済、イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の運用柔軟化により、一段と金融政策の正常化が進む見込みです。日銀は市場予想よりも早期の政策修正を迫られると見えています。米国が景気サイクルの後期にあることや、FRBが利上げサイクルの終盤に差し掛かっていることから、ドルは他の先進国通貨に対して相対的に割高な現在の水準から徐々に下落する見込みです。但し、新興国通貨は対ドルで引き続き割高と見えています。一部の新興國中銀が利下げ局面にある中、新興諸国と米国の金利差は縮小する見込みです。

こうした状況の中、デュレーション戦略では、イールドカーブがスティープ化に向かうとの想定から、米国、ユーロ圏、英国のイールドカーブのスティープ化を見越したポジション（短中期ゾーンのオーバーウェイト、長期ゾーンのアンダーウェイト）を取る方針です。通貨戦略では、一部の先進国通貨に対してドルをアンダーウェイトとします。一部新興国通貨に対するドルのオーバーウェイトを継続します。ポンドのアンダーウェイトを継続します。

以上の方針のもと、引き続きリスクに注視しつつ、国別配分、デュレーション調整、イールドカーブ調整、通貨配分、信用セクターの配分調整および銘柄選択から幅広く収益機会を迫及することで、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）を上回る運用を目指します。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2022年10月18日 ～2023年10月16日		項目の概要
	金 額 円	比 率 %	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	197 (107) ( 82) ( 8)	1.316 (0.713) (0.548) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社によるファンドの運用の対価 分配・換金・償還金の支払、運用報告書の送付、口座管理等に係る費用 受託会社によるファンド運用財産の保管、管理、運用指図実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 ( 7) ( 0) ( 0)	0.050 (0.047) (0.003) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務に係る諸費用
合 計	205	1.366	

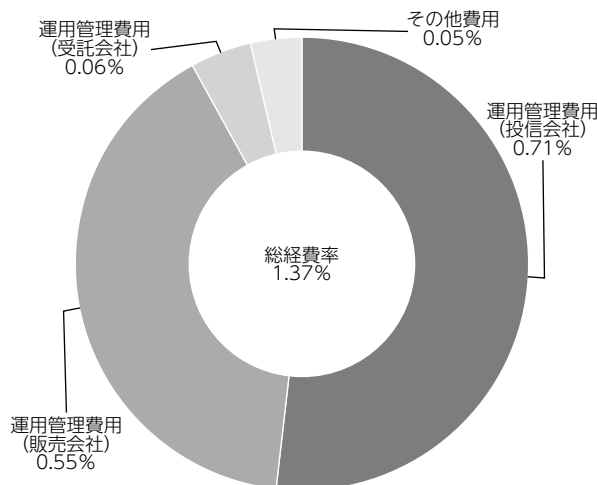
期中の平均基準価額は、14,978円です。

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注3) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注4) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

### (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.37%です。



- (注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ■売買及び取引の状況（2022年10月18日から2023年10月16日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
J A 海 外 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 3,344	千円 10,994	千□ 12,775	千円 42,275

## ■利害関係人との取引状況等（2022年10月18日から2023年10月16日まで）

当期における当ファンド及びマザーファンドに係る利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

該当事項はありません。

## ■組入資産の明細

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
J A 海 外 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 65,331	千□ 55,900	千円 192,301

## ■投資信託財産の構成

2023年10月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
J A 海 外 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 192,301	% 99.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,282	0.7
投 資 信 託 財 産 総 額	193,583	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお、2023年10月16日における邦貨換算レートは1ドル=149.60円、1カナダドル=109.57円、1メキシコペソ=8.2981円、1ユーロ=157.35円、1ポンド=181.72円、1スイスフラン=165.78円、1スウェーデンクローネ=13.58円、1ノルウェークローネ=13.68円、1デンマーククローネ=21.10円、1ポーランドズロチ=35.2814円、1オーストラリアドル=94.32円、1ニュージーランドドル=88.38円、1シンガポールドル=109.21円、1イスラエルシェケル=37.6167円、1南アフリカランド=7.88円、1オフショア人民元=20.4561円です。

(注2) マザーファンドの外貨建資産（11,779,857千円）の投資信託財産総額に対する比率は94.7%です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年10月16日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	193,583,459円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,281,632
J A 海外債券マザーファンド(評価額)	192,301,827
(B)負 債	2,911,723
未 払 収 益 分 配 金	1,611,726
未 払 信 託 報 酬	1,293,507
未 払 利 息	1
そ の 他 未 払 費 用	6,489
(C)純 資 産 総 額(A - B)	190,671,736
元 本	123,978,969
次 期 繰 越 損 益 金	66,692,767
(D)受 益 権 総 口 数	123,978,969口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	15,379円

### <注記事項>

当ファンドの期首元本額は143,025,712円、期中追加設定元本額は7,362,431円、期中一部解約元本額は26,409,174円です。

### <第23期分配金の計算過程>

計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,947,756円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(1,937,740円)、信託約款に規定される収益調整金(48,368,282円)及び分配準備積立金(15,470,479円)より分配対象収益は68,724,257円(1万口当たり5,543.22円)となり、基準価額水準、市況動向等を勘案し1,611,726円(1万口当たり130円)を分配いたしました。

## ■損益の状況

当期 自2022年10月18日 至2023年10月16日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 444円
受 取 利 息	10
支 払 利 息	△ 454
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	8,584,001
売 買 益	9,108,954
売 買 損	△ 524,953
(C)信 託 報 酬 等	△ 2,651,690
(D)当 期 損 益 金(A + B + C)	5,931,867
(E)前 期 繰 越 損 益 金	14,424,108
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	47,948,518
(配 当 等 相 当 額)	( 48,347,124)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 398,606)
(G) 計 (D + E + F)	68,304,493
(H)収 益 分 配 金	△ 1,611,726
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	66,692,767
追 加 信 託 差 損 益 金	47,948,518
(配 当 等 相 当 額)	( 48,368,282)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 419,764)
分 配 準 備 積 立 金	18,744,249

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換え等によるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) (F)追加信託差損益金とは、追加設定した金額と元本との差額です。

(注4) 信託財産の運用の指図にかかる権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁している額は、J A 海外債券マザーファンドの計算期間を通じて毎日、当該マザーファンドの信託財産の純資産総額に年率0.5%以内の率を乗じて得た報酬の総額に、当該マザーファンドの受益権口数に占める信託財産に属する当該マザーファンドの受益権口数の持分割合を乗じて得た額としております。

## ■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	130円
----------------	------

- (注1) 分配金は、決算日から起算して5営業日までに販売会社より支払いが開始されます。
- (注2) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。  
分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- (注3) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

分配が行われた場合、＜分配金再投資（累積投資）コース＞をご利用の方は、税引き後の分配金が各決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資されます。

原則として、数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で記載しておりますので、合計欄の値が個別数値の合計と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数で記載する場合があります。

# J A 海外債券マザーファンド

## 運用報告書

《第23期》

決算日：2023年10月16日

(計算期間：2022年10月18日～2023年10月16日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	<p>この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。主として日本を除く世界各国の公社債、アセットバック証券およびモーゲージ証券等に投資を行うことにより、当社が円ベースに換算したFTSE世界国債インデックス（除く日本）を上回る投資成果を目指します。</p> <p>運用にあたりましては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ウエリントン・マネージメント香港リミテッドおよびウエリントン・マネージメント・インターナショナル・リミテッドに外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限を委託します。原則としてファンダメンタルズ分析と計量分析を併用した手法により、割安銘柄の発掘および投資ならびに各通貨間での為替運用を行い、当社が円ベースに換算したFTSE世界国債インデックス（除く日本）に対しての超過収益の獲得に努めます。</p> <p>また、投資対象とする公社債は、BBBマイナス格相当以上の格付を有する投資適格債とし、格付の低下により投資不適格となった場合には、該当銘柄の流動性を考慮しつつ、速やかに売却するよう指図を行います。</p>
主要運用対象	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

運用状況に関する問い合わせ窓口  
(フリーダイヤル) 0120-439-244  
<受付時間> 営業日の午前9時から午後5時まで  
<https://www.ja-asset.co.jp/>



# NZAM

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース)		騰落率 差異状況	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	期 騰落率	中 騰落率	期 騰落率	中 騰落率				
19期 (2019年10月16日)	円 29,570	% 5.7	118,015.85	% 5.3	% 0.3	% 94.1	% -	百万円 19,477
20期 (2020年10月16日)	30,981	4.8	124,227.76	5.3	△0.5	93.4	-	19,010
21期 (2021年10月18日)	32,633	5.3	130,873.66	5.3	△0.0	96.2	-	20,432
22期 (2022年10月17日)	32,905	0.8	131,462.19	0.4	0.4	97.7	-	19,925
23期 (2023年10月16日)	34,401	4.5	137,191.43	4.4	0.2	97.0	-	11,874

(注1) FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。当ファンドの運用にあたっては、同インデックス (米ドルベース) をもとに、FTSE Fixed Income LLCの承諾を得たうえで、当社が独自に円換算したものを採用しています。当ファンドの基準価額は組入有価証券の前営業日の時価を基に計算されることから、同インデックス (米ドルベース) は、前日の値を採用しております (以下同じ)。

(注2) 騰落率差異状況=基準価額期中騰落率-FITSE世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース) 期中騰落率

(注3) 債券先物比率=買建比率-売建比率 (以下同じ)

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース)		騰落率 差異状況	債券 組入比率	債券 先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) 2022年10月17日	円 32,905	% -	131,462.19	% -	% -	% 97.7	% -
10月末	33,621	2.2	134,355.58	2.2	△0.0	98.6	-
11月末	32,629	△0.8	130,450.45	△0.8	△0.1	98.4	-
12月末	31,061	△5.6	123,946.18	△5.7	0.1	97.7	-
2023年1月末	31,437	△4.5	125,559.37	△4.5	0.0	97.1	-
2月末	31,829	△3.3	126,903.60	△3.5	0.2	97.4	-
3月末	32,215	△2.1	128,532.24	△2.2	0.1	96.9	-
4月末	32,467	△1.3	129,370.93	△1.6	0.3	97.9	-
5月末	33,269	1.1	132,829.02	1.0	0.1	97.2	-
6月末	34,604	5.2	138,284.07	5.2	△0.0	98.5	-
7月末	33,860	2.9	135,228.01	2.9	0.0	97.8	-
8月末	34,797	5.7	138,880.06	5.6	0.1	96.7	-
9月末	34,277	4.2	136,810.50	4.1	0.1	98.2	-
(期末) 2023年10月16日	円 34,401	% 4.5	137,191.43	% 4.4	% 0.2	% 97.0	% -

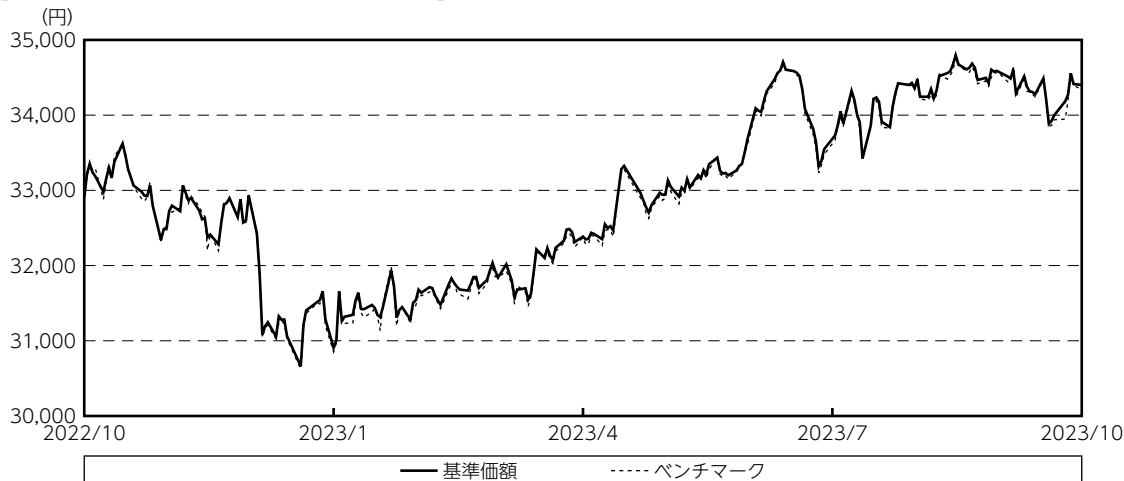
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率差異状況=基準価額騰落率-FITSE世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース) 騰落率

## 《運用経過》

【当期中の基準価額等の推移について】

(第23期：2022年10月18日～2023年10月16日)



(注1) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）です。  
 (注2) ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

### 【基準価額の主な変動要因】

基準価額は、期首32,905円で始まり、期末34,401円となり、騰落率は4.5%の上昇となりました。デュレーション調整、国別配分、イールドカーブ調整、通貨配分および信用セクターにおいて分散した投資を行い、リスクを管理しつつ超過収益の獲得に努めました。

各国長期金利が上昇（債券価格が下落）したことがマイナスに寄与したものの、ドルやユーロなどに対して円安が進行したことがプラスに寄与しました。

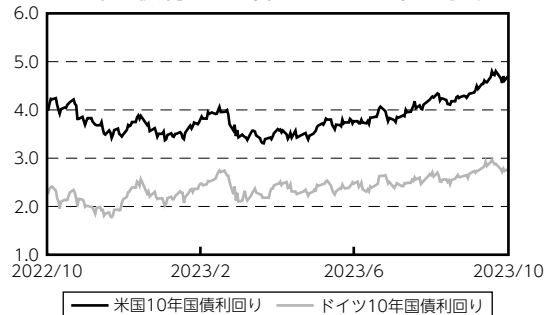
### 【投資環境について】

#### □海外債券市況

米国10年国債利回り（以下「米国長期金利」という）は、期首から期末にかけて上昇しました。

期首から2022年12月上旬にかけては、予想対比較調な米国物価指標や、ハト派な11月米連邦公開市場委員会（以下「FOMC」という）議事要旨やパウエル米連邦準備制度理事会（以下「FRB」という）議長の発言を受けた利上げペース減速期待を背景に米国長期金利は低下しました。12月中旬から2023年1月下旬にかけては、日欧長期金利の上昇を背景に米国長期金利は上昇する場面も

#### (%) 10年国債利回り（米国、ドイツ）の推移



あったものの、軟調な米国経済指標や円長期金利の低下を背景に横ばい圏で推移しました。2月上旬から2月下旬にかけては、予想対比堅調な米国経済指標やFRB高官によるタカ派な発言を背景に米国長期金利は上昇しました。3月上旬から3月下旬にかけては、労働需要の緩和が示唆された米国雇用指標や米欧銀行セクターを巡る金融システム不安に加え、ハト派な結果となった3月FOMCを背景に米国長期金利は低下しました。4月上旬から5月下旬にかけては、堅調な雇用環境や消費動向を背景とした利上げ観測の高まりや、債務上限問題にかかる楽観的な見通しを背景に米国長期金利は上昇しました。6月上旬から7月下旬にかけては、インフレ鈍化と共に景気減速が意識される中、年内複数回の利上げを織り込む動きに左右されながら、米国長期金利は上昇しました。8月上旬から期末にかけては、堅調な米国経済指標に加え、米国債の格下げや米国債発行計画の増額、原油価格の上昇、9月FOMCにおいて経済・物価見通しの引き上げや来年の利下げ回数予測の下方修正が行われるなどタカ派な内容となったことを受けて米国長期金利は上昇しました。

ドイツ10年国債利回り（以下「独国長期金利」という）は、期首から期末にかけて上昇しました。

期首から2022年11月下旬にかけては、10月の欧州中央銀行（以下「ECB」という）理事会がハト派な結果と受け止められたことや予想対比較調な欧州物価指標を受けて独国長期金利は低下しました。12月上旬から12月下旬にかけては、12月ECB理事会がタカ派な内容となったことや12月日銀金融政策決定会合での政策修正を受けた長期金利上昇を背景に独国長期金利は上昇しました。2023年1月上旬から1月中旬にかけては、利上げペース減速の観測報道を受けて独国長期金利は低下しました。1月下旬から2月下旬にかけては、ECB高官によるタカ派な発言や予想対比堅調な欧州経済指標を受けて独国長期金利は上昇しました。3月上旬から3月下旬にかけては、米欧銀行セクターを巡る金融システム不安を背景に独国長期金利は低下しました。4月上旬から期末にかけてはECBによる利上げが継続する中で、米国長期金利の上昇や欧州債の旺盛な発行を受けて独国長期金利は上昇しました。

#### □為替市況

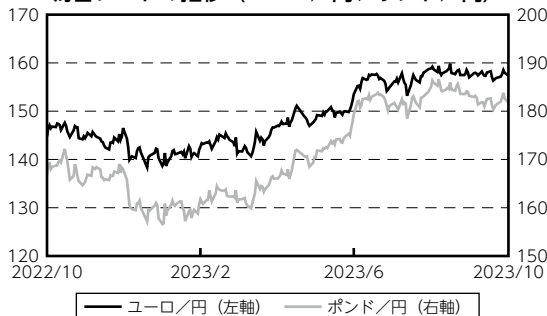
ドル／円は、期首から期末にかけて円安・ドル高となりました。

期首から2023年1月下旬にかけては、景気減速を示唆する米国経済指標の発表を受けた米国長期金利の低下や、日銀が2022年12月金融政策決定会合において長期金利の許容レンジ拡大を決定したことなどを受けて円高・ドル安となりました。2月上旬から2月下旬にかけては、米国長期金利の上昇や、日銀の次期総裁候補であった植田氏が金融緩和を継続する意向を示したことを背景に円安・ドル高となりました。3月上旬から3月下旬にかけては、米地銀の経営破綻に端を発した金融システム

(円) 為替レートの推移 (ドル／円)



(円) 為替レートの推移 (ユーロ／円、ポンド／円) (円)



不安の波及から為替相場がリスク回避の動きとなる中、ハト派な結果となった3月FOMCを受けた米国長期金利の低下を背景に円高・ドル安となりました。4月上旬から期末にかけては、日米金融政策格差が意識される中で米国長期金利が上昇したことを背景に円安・ドル高となりました。

ユーロ/円は、期首から期末にかけて円安・ユーロ高となりました。

期首から2023年1月上旬にかけては、予想対比較調な米国物価指標を受けて各国中央銀行による金融引き締め姿勢の緩和期待が高まり、主要通貨に対して円が強含んだことに加えて、日銀が2022年12月金融政策決定会合において長期金利の許容レンジ拡大を決定したことを受けて円高・ユーロ安となりました。1月中旬から2月下旬にかけては、日銀の1月金融政策決定会合がハト派な内容となったことや複数のECB高官によるタカ派な発言を背景に円安・ユーロ高となりました。3月上旬から3月下旬にかけては、欧州銀行セクターを巡る金融システム不安を受けて円高・ユーロ安となりました。4月上旬から期末にかけては、日欧金融政策格差が意識される中で独国長期金利が上昇したことを背景に円安・ユーロ高となりました。

### 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）を上回る投資成果を目指します。外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ウエリントン・マネージメント香港リミテッドおよびウエリントン・マネージメント・インターナショナル・リミテッドに委託しています。

前述のような投資環境のもと、当ファンドは以下のような運用を行いました。

#### デュレーション調整（※）

ポートフォリオ全体のリスクを注視しつつ、ベンチマーク対比で機動的に調整しました。期初は、欧州の底堅い経済成長およびECBによる利上げ継続見通しから、ユーロ圏の国債のアンダーウェイトを中心に、全体でもアンダーウェイトとしました。その後2023年5月にかけては、相次ぐ米地銀の経営破綻を受けて米国の金融環境が一段と引き締まるとの見方から、米国国債のオーバーウェイトを中心に、全体もオーバーウェイトとしました。6月以降は、国ごとの経済・政策動向のばらつきが鮮明化する中、全体のデュレーションを機動的に調整しつつ、世界経済およびインフレの先行き不透明感に鑑み、足許ではベンチマーク対比中立近辺としています。

※組入債券の入替え等によるポートフォリオ全体のデュレーション（市場金利の変化に対する債券価格の感応度）の調整。

#### 国別配分

金融引き締めと財政拡張という相反する政策の導入は財政悪化懸念の高まりにつながるとの見方に基づき、ユーロ圏の周辺国（イタリア、スペイン）に対するコア国（ドイツ）のオーバーウェイトを継続しました。

#### イールドカーブ調整（※）

2023年5月から6月にかけて、カナダのイールドカーブのフラット化を見越したポジション（長期ゾーンのアンダーウェイトに対する超長期ゾーンのオーバーウェイト）を構築しました。

※イールドカーブ（市場金利の利回り曲線）の形状変化を予測することによる組入債券の残存期間別配分の調整。スティーピング（スティープ化）とは利回り曲線の急勾配化、フラットニング（フラット化）とは利回り曲線の平坦化を指します。



#### □通貨配分

英国経済の先行き不透明感、イングランド銀行（以下「BOE」という）の不十分なインフレ対応、歴史的に突出した英国の財政赤字が英ポンドの重石になると見て、英ポンドのアンダーウェイトを拡大しました。また、欧州における製造業の回復や消費の拡大を見込んだ経済成長見通しから、ユーロを機動的にオーバーウェイトとしました。米ドルは、米国の景気サイクルの後期にある点や、FRBが利上げサイクルの終盤に差し掛かっている点に鑑み、他の先進国通貨に対して相対的に割高な現在の水準から徐々に下落すると見て、主にユーロや豪ドルに対してアンダーウェイトとしました。一方で、新興国通貨の対米ドルの割高感や一部新興国中銀の利下げ見通しから、一部新興国通貨（主にメキシコ・ペソ）に対してはオーバーウェイトとしました。

#### □信用セクターの配分

政府機関債および投資適格社債の選別的な保有を継続しました。

#### 【ベンチマークとの差異要因について】

ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）との比較では、ベンチマークの騰落率+4.4%に対して、0.2%上回りました。

#### □プラスに作用した主な要因

##### ・デュレーション調整

欧州の経済成長の再加速やECBの利上げ継続を見込み、期を通じてユーロ圏の国債をアンダーウェイトとしたことはプラスに寄与しました。ユーロ圏の国債利回りは、インフレの高止まりやECBの金融引き締め長期化観測を背景に上昇しました。

##### ・イールドカーブ調整

カナダのイールドカーブのフラット化を見越したポジションは主に2023年6月に小幅プラス寄与しました。カナダ中央銀行（BOC）が追加利上げを示唆する中、カナダの長期金利は超長期金利を上回って上昇しました。

##### ・信用セクターの配分

投資適格社債や政府機関債の選別的な保有が主に2022年10月から12月にかけてプラス寄与しました。英財政に対する懸念の後退や予想対比較調な米国物価指標、主要中銀の利上げペースの鈍化期待などを受けてリスク選好が改善し、クレジットスプレッド（国債と投資適格社債の利回り較差）は縮小しました。

#### □マイナスに作用した主な要因

##### ・国別配分

金融引き締めと財政拡張という相反する政策の導入は財政悪化懸念の高まりにつながるとの見方に基づき、ユーロ圏の周辺国に対してコア国をオーバーウェイトしたことは主に2022年10月から2023年2月にかけてマイナスに寄与しました。2022年末の欧州天然ガス価格の大幅な下落を受けて周辺国の国債利回りが低下したことや、2023年初のインフレの高止まりやECBの利上げ長期化見通しを受けて独国債利回りがイタリアやスペインの国債利回り以上に上昇したことなどを背景に、周辺国スプレッド（独国債と周辺国債の利回り較差）は縮小しました。

##### ・通貨配分

英国の構造的な財政赤字やBOEの不十分なインフレ対応がポンドの重石となると見て、ポンドを米ドルに対してアンダーウェイトとしたことは主に2022年10月にマイナスに寄与しました。大規模減税策の撤回や首相交代を受けた財政健全化への期待の高まりなどを背景にポンドは上昇しました。

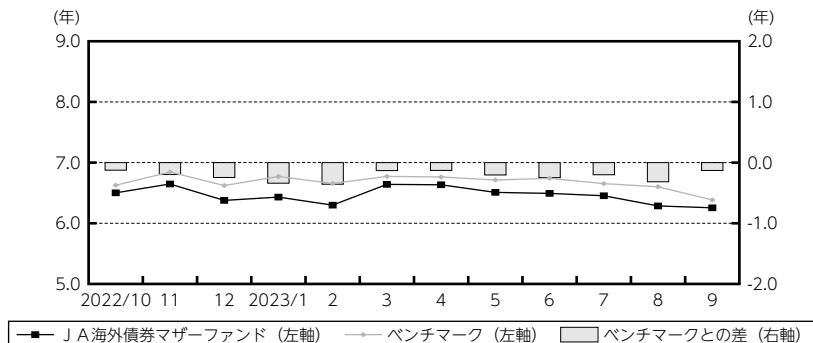
## 《今後の運用方針》

構造的な高インフレ、緩やかな景気減速、各国中銀の一段のハト派姿勢を背景に、主要国のイールドカーブはスティープ化すると見えています。短期金利は景気減速に連動し、長期金利は根強いインフレ圧力に反応すると想定しますが、経済成長の再加速やインフレ率の更なる上昇はこの見通しのリスクです。また、足許の急速かつ大幅な利上げの影響によって、金融環境の更なる引き締まりが進み、金融不安につながるリスクが高まっています。リスクが顕在化した場合には、資産クラスとしての債券のトータルリターンはプラスとなる可能性があります。一方で日本では、民間部門の賃上げ動向にかかる前向きな変化、堅調な日本経済、イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の運用柔軟化により、一段と金融政策の正常化が進む見込みです。日銀は市場予想よりも早期の政策修正を迫られると見えています。米国が景気サイクルの後期にあることや、FRBが利上げサイクルの終盤に差し掛かっていることから、ドルは他の先進国通貨に対して相対的に割高な現在の水準から徐々に下落する見込みです。但し、新興国通貨は対米ドルで引き続き割高と見えています。一部の新興國中銀が利下げ局面にある中、新興諸国と米国の金利差は縮小する見込みです。

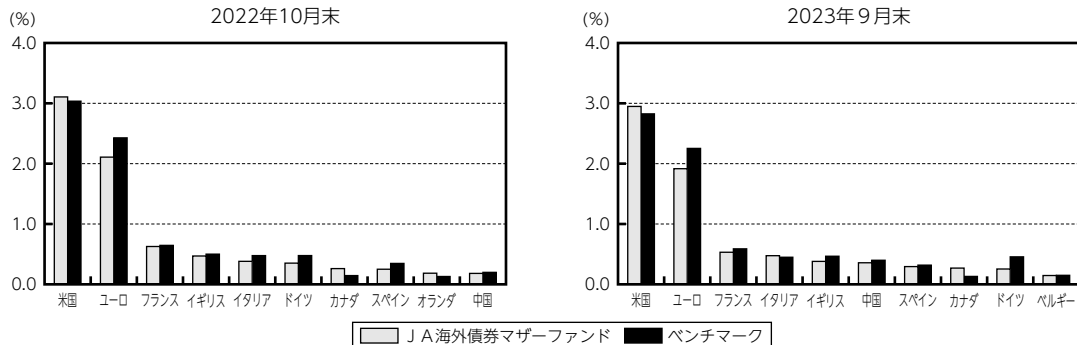
こうした状況の中、デュレーション戦略では、イールドカーブがスティープ化に向かうとの想定から、米国、ユーロ圏、英国のイールドカーブのスティープ化を見越したポジション（短中期ゾーンのオーバーウェイト、長期ゾーンのアンダーウェイト）を取る方針です。通貨戦略では、一部の先進国通貨に対してドルをアンダーウェイトとします。一部新興国通貨に対するドルのオーバーウェイトを継続します。ポンドのアンダーウェイトを継続します。

以上の方針のもと、引き続きリスクに注視しつつ、国別配分、デュレーション調整、イールドカーブ調整、通貨配分、信用セクターの配分調整および銘柄選択から幅広く収益機会を迫及することで、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）を上回る運用を目指します。

## J A海外債券マザーファンドとベンチマークにおけるデュレーションの推移（月末ベース）

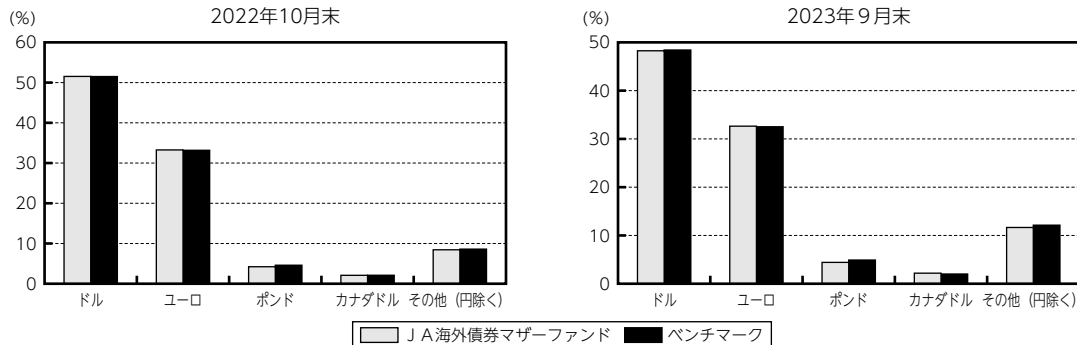


## J A海外債券マザーファンドとベンチマークにおける加重デュレーション



(注) 加重デュレーションは、国別に修正デュレーション×組入比率で算出したものであり、金利エクスポージャーの大きさを表す数値です。

## J A海外債券マザーファンドとベンチマークにおける通貨別組入比率



## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2022年10月18日 ～2023年10月16日		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) その他費用 (保管費用)	円 14	% 0.043	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務に係る諸費用
(その他)	(14)	(0.043)	
合 計	( 0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、33,005円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況 (2022年10月18日から2023年10月16日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千ドル 64,261	千ドル 91,626
		地方債証券	629	468
		特殊債券	1,413	1,471
		社債券 (投資法人債券を含む)	3,343	1,121 ( 3,036)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 5,910	千カナダドル 6,426
		国債証券	千メキシコペソ 22,428	千メキシコペソ 21,699
	ユドイッ	国債証券	千ユーロ 16,637	千ユーロ 18,636
		地方債証券	595	595
	イタリ	国債証券	8,851	14,948
		国債証券	4,794	10,808
	フランス	特殊債券	1,228	1,322
		社債券 (投資法人債券を含む)	299	-
	イオランダ	国債証券	191	1,744
		特殊債券	-	641
	スペイン	国債証券	4,845	6,699
		国債証券	1,554	2,956
	オーストリア	国債証券	798	1,256
		国債証券	861	1,218
	フィンランド	国債証券	708	1,159
		特殊債券	-	1,300
その他	社債券 (投資法人債券を含む)	-	246 ( 325)	
	国債証券	千ポンド 7,213	千ポンド 9,171	
イギリス	地方債証券	-	445	
	社債券 (投資法人債券を含む)	99	-	
スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ 3,210	千スウェーデンクローネ 4,154	
	国債証券	千ノルウェークローネ 9,403	千ノルウェークローネ 8,494	
デンマーク	国債証券	千デンマーククローネ -	千デンマーククローネ 1,437	
	国債証券	千ポーランドズロチ 406	千ポーランドズロチ 2,480	
オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 4,526	千オーストラリアドル 6,606	
	国債証券	千ニュージーランドドル 2,783	千ニュージーランドドル 2,390	
シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 470	千シンガポールドル 1,220	
	国債証券	千イスラエルシェケル 79	千イスラエルシェケル 1,525	
中国オフショア	国債証券	千オフショア人民元 39,359	千オフショア人民元 37,561	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ■主要な売買銘柄 公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
T-NOTE 3.875% 27/11/30(アメリカ)	1,920,832	T-NOTE 0.75% 26/8/31(アメリカ)	1,958,657
T-NOTE 3.625% 28/3/31(アメリカ)	1,535,449	T-NOTE 3.875% 27/11/30(アメリカ)	1,480,578
T-NOTE 4.125% 32/11/15(アメリカ)	988,683	T-NOTE 2.5% 24/5/15(アメリカ)	1,250,010
T-BILL 0% 23/10/12(アメリカ)	925,112	T-NOTE 4.125% 32/11/15(アメリカ)	1,023,876
T-NOTE 3.875% 33/8/15(アメリカ)	769,394	T-BILL 0% 23/10/12(アメリカ)	914,247
BTPS 3.8% 26/4/15(ユーロ・イタリア)	628,786	T-NOTE 2.875% 32/5/15(アメリカ)	872,249
BUND 2.3% 33/2/15(ユーロ・ドイツ)	608,064	GILT 0.875% 33/7/31(イギリス)	663,709
OBL 0% 26/10/9(ユーロ・ドイツ)	556,084	BTPS 3.8% 26/4/15(ユーロ・イタリア)	656,564
T-NOTE 3.5% 33/2/15(アメリカ)	516,527	T-NOTE 2.625% 27/5/31(アメリカ)	649,895
GILT 0.875% 33/7/31(イギリス)	513,994	T-NOTE 2.75% 27/7/31(アメリカ)	611,393

(注) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）で、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

## ■利害関係人との取引状況等（2022年10月18日から2023年10月16日まで）

当期における当ファンドに係る利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

該当事項はありません。

## ■組入資産の明細

### 外国（外貨建）公社債

#### ① 債券種類別開示

区 分	額 面 金 額	当 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		評 価 額				5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
ア メ リ カ	千ドル 46,057	千ドル 40,311	千円 6,030,532	% 50.8	% -	% 14.8	% 32.6	% 3.3
カ ナ ダ	千カナダドル 1,863	千カナダドル 1,636	179,269	1.5	-	0.9	0.3	0.2
メ キ シ コ	千メキシコペソ 21,423	千メキシコペソ 19,475	161,612	1.4	-	0.4	0.9	-
ユ ロ	千ユーロ 3,127	千ユーロ 2,977	468,543	3.9	-	2.4	1.5	0.1
	4,834	4,365	686,862	5.8	-	3.3	2.4	-
	6,090	5,269	829,092	7.0	-	4.3	2.7	-
	1,990	1,569	246,928	2.1	-	0.8	1.3	-
	3,262	2,995	471,340	4.0	-	2.8	1.2	-
	1,342	1,127	177,356	1.5	-	1.5	-	-
	738	633	99,697	0.8	-	0.8	-	-
	338	270	42,488	0.4	-	0.4	-	-
	417	335	52,720	0.4	-	0.4	-	-
	2,799	2,543	400,287	3.4	-	0.4	2.2	0.8
イ ギ リ ス	千ポンド 3,479	千ポンド 3,049	554,198	4.7	-	2.1	2.0	0.6
ス ウ ェ ー デ ン	千スウェーデンクローネ 1,645	千スウェーデンクローネ 1,479	20,093	0.2	-	0.2	-	-
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 3,289	千ノルウェークローネ 3,049	41,723	0.4	-	0.2	0.1	-
デ ン マ ー ク	千デンマーククローネ 1,012	千デンマーククローネ 1,185	25,019	0.2	-	0.2	-	-
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 1,405	千ポーランドズロチ 1,260	44,468	0.4	-	0.1	0.3	-
オ ー ス ト ラ リ ア	千オーストラリアドル 1,957	千オーストラリアドル 1,687	159,153	1.3	-	1.1	0.3	-
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	千ニューージーランドドル 1,176	千ニューージーランドドル 968	85,552	0.7	-	0.7	-	-
シ ン ガ ポ ー ル	千シンガポールドル 644	千シンガポールドル 609	66,547	0.6	-	0.6	-	-
イ ス ラ エ ル	千イスラエルシケル 594	千イスラエルシケル 434	16,348	0.1	-	0.1	-	-
中 国 オ フ シ ョ ア	千オフショア人民元 31,500	千オフショア人民元 31,924	653,057	5.5	-	1.8	3.7	-
合 計	-	-	11,512,895	97.0	-	40.4	51.4	5.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです（以下同じ）。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 格付は原則として、当社が選定した複数の外部格付機関（発行体が国内居住者及びそれに準じるもの（日系企業を含む）の場合についてはR&I、JCR、その他の場合についてはS&P、Moody's、Fitch）の格付のうち、いずれか低いものを採用しております。

② 個別銘柄開示

作成期	銘柄	種類	年利率	当 期 末			償還年月日
				額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)			%	千ドル	千ドル	千円	
CAN GOV 3.75 280426	国債証券		3.75	600	575	86,045	2028/4/26
T-BOND 1.75 410815	国債証券		1.75	4,203	2,594	388,166	2041/8/15
T-BOND 2.0 510815	国債証券		2.0	4,464	2,542	380,315	2051/8/15
T-BOND 3.625 440215	国債証券		3.625	1,269	1,045	156,412	2044/2/15
T-BOND 3.75 410815	国債証券		3.75	103	88	13,206	2041/8/15
T-NOTE 0.75 260831	国債証券		0.75	5,889	5,249	785,358	2026/8/31
T-NOTE 1.0 280731	国債証券		1.0	708	596	89,305	2028/7/31
T-NOTE 2.625 270531	国債証券		2.625	1,578	1,466	219,405	2027/5/31
T-NOTE 3.625 280331	国債証券		3.625	10,699	10,248	1,533,108	2028/3/31
T-NOTE 3.875 271130	国債証券		3.875	3,643	3,528	527,919	2027/11/30
T-NOTE 3.875 330815	国債証券		3.875	3,352	3,154	471,841	2033/8/15
T-NOTE 4.0 300228	国債証券		4.0	577	555	83,072	2030/2/28
T-NOTE 4.125 280731	国債証券		4.125	468	457	68,426	2028/7/31
BRITISH COLUM 4.2 330706	地方債証券		4.2	482	448	67,081	2033/7/6
KFW 4.125 330715	特殊債券(除<金融債)		4.125	917	866	129,670	2033/7/15
AERCAP 1.15 231029	普通社債券(含む投資法人債券)		1.15	620	618	92,575	2023/10/29
AMGEN INC 5.15 280302	普通社債券(含む投資法人債券)		5.15	130	127	19,118	2028/3/2
AT&T INC 1.65 280201	普通社債券(含む投資法人債券)		1.65	250	210	31,496	2028/2/1
BANK OF AMERICA 5.933 270915	普通社債券(含む投資法人債券)		5.933	130	128	19,289	2027/9/15
BANK OF NY 5.224 251121	普通社債券(含む投資法人債券)		5.224	250	247	37,099	2025/11/21
CAN PACIFIC 1.35 241202	普通社債券(含む投資法人債券)		1.35	250	237	35,532	2024/12/2
CIGNA GROUP 5.685 260315	普通社債券(含む投資法人債券)		5.685	325	324	48,479	2026/3/15
COLUMBIA PI 6.055 260815	普通社債券(含む投資法人債券)		6.055	110	110	16,470	2026/8/15
CRBG FIN 3.5 250404	普通社債券(含む投資法人債券)		3.5	190	182	27,336	2025/4/4
DISCA 3.9 241115	普通社債券(含む投資法人債券)		3.9	390	378	56,650	2024/11/15
ELI LILLY 5.0 260227	普通社債券(含む投資法人債券)		5.0	365	364	54,486	2026/2/27
ENBRIDGE 5.969 260308	普通社債券(含む投資法人債券)		5.969	210	209	31,286	2026/3/8
EVERSOURCE 4.75 260515	普通社債券(含む投資法人債券)		4.75	70	68	10,221	2026/5/15
GE HEALTHCARE 5.55 24111	普通社債券(含む投資法人債券)		5.55	270	268	40,234	2024/11/15
GSK CONSUM 3.024 240324	普通社債券(含む投資法人債券)		3.024	250	246	36,875	2024/3/24
INTEL 4.875 260210	普通社債券(含む投資法人債券)		4.875	155	153	22,905	2026/2/10
INTNED 3.869 260328	普通社債券(含む投資法人債券)		3.869	250	241	36,115	2026/3/28
JOHN DEERE 4.75 260608	普通社債券(含む投資法人債券)		4.75	140	137	20,643	2026/6/8
JPMORGAN 4.851 280725	普通社債券(含む投資法人債券)		4.851	200	192	28,798	2028/7/25
MERCEDES-BNZ 5.375 251126	普通社債券(含む投資法人債券)		5.375	170	169	25,317	2025/11/26
MORGAN STAN 240125	普通社債券(含む投資法人債券)	5.518399		630	629	94,210	2024/1/25
NEXTERA ENE 5.749 250901	普通社債券(含む投資法人債券)		5.749	95	94	14,152	2025/9/1
OFT 3.5 320419	普通社債券(含む投資法人債券)		3.5	385	333	49,945	2032/4/19
OMERS FINANCE 4.0 280420	普通社債券(含む投資法人債券)		4.0	250	237	35,515	2028/4/20
PFIZER INV 4.45 260519	普通社債券(含む投資法人債券)		4.45	210	205	30,672	2026/5/19
SOUTHERN 5.5 290315	普通社債券(含む投資法人債券)		5.5	125	123	18,520	2029/3/15
STATESTREET 5.272 260803	普通社債券(含む投資法人債券)		5.272	110	108	16,240	2026/8/3
TORONTO DOM 5.103 260109	普通社債券(含む投資法人債券)		5.103	155	152	22,842	2026/1/9



作成期 銘柄	当 期 末					償還年月日
	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		%	千ドル	千ドル	千円	
UNITEDHEALTH 1.25 260115	普通社債券(含む投資法人債券)	1.25	105	95	14,359	2026/1/15
VERALTO CORP 5.5 260918	普通社債券(含む投資法人債券)	5.5	165	164	24,545	2026/9/18
VERIZON 2.1 280322	普通社債券(含む投資法人債券)	2.1	150	128	19,259	2028/3/22
通貨小計	-	-	-	-	6,030,532	-
(カナダ)		%	千カナダドル	千カナダドル	千円	
CAN GOV 0.5 301201	国債証券	0.5	744	581	63,667	2030/12/1
CAN GOV 1.5 260601	国債証券	1.5	400	369	40,499	2026/6/1
CAN GOV 2.25 250601	国債証券	2.25	270	258	28,358	2025/6/1
CAN GOV 3.5 451201	国債証券	3.5	449	426	46,744	2045/12/1
通貨小計	-	-	-	-	179,269	-
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
MBONO 10.0 361120	国債証券	10.0	902	918	7,622	2036/11/20
MBONO 5.5 270304	国債証券	5.5	4,619	3,992	33,126	2027/3/4
MBONO 7.5 270603	国債証券	7.5	10,269	9,405	78,044	2027/6/3
MBONO 8.0 530731	国債証券	8.0	1,285	1,069	8,877	2053/7/31
MBONO 8.5 290531	国債証券	8.5	4,346	4,090	33,940	2029/5/31
通貨小計	-	-	-	-	161,612	-
(ドイツ)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BUND 1.8 530815	国債証券	1.8	69	53	8,482	2053/8/15
BUND 2.3 330215	国債証券	2.3	1,213	1,173	184,641	2033/2/15
BUND 2.4 281019	国債証券	2.4	348	343	54,036	2028/10/19
BUND 3.25 420704	国債証券	3.25	200	207	32,704	2042/7/4
OBL 0 261009	国債証券	-	1,196	1,099	173,056	2026/10/9
VW 1.875 240131	普通社債券(含む投資法人債券)	1.875	100	99	15,622	2024/1/31
国 小 計	-	-	-	-	468,543	-
(イタリア)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BTPS 2.45 330901	国債証券	2.45	2,143	1,772	278,886	2033/9/1
BTPS 3.8 280801	国債証券	3.8	742	731	115,035	2028/8/1
BTPS 3.85 260915	国債証券	3.85	1,120	1,115	175,554	2026/9/15
BTPS 4.5 531001	国債証券	4.5	829	746	117,385	2053/10/1
国 小 計	-	-	-	-	686,862	-
(フランス)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
OAT 0 270225	国債証券	-	1,315	1,186	186,685	2027/2/25
OAT 0 311125	国債証券	-	1,525	1,179	185,642	2031/11/25
OAT 1.5 500525	国債証券	1.5	394	244	38,538	2050/5/25
OAT 1.75 660525	国債証券	1.75	221	130	20,481	2066/5/25
OAT 2.0 480525	国債証券	2.0	221	158	24,970	2048/5/25
OAT 2.5 260924	国債証券	2.5	535	524	82,572	2026/9/24
OAT 2.5 430525	国債証券	2.5	97	80	12,601	2043/5/25
OAT 2.75 290225	国債証券	2.75	197	193	30,435	2029/2/25
OAT 3.0 330525	国債証券	3.0	873	850	133,767	2033/5/25
OAT 4.0 550425	国債証券	4.0	312	321	50,551	2055/4/25
CAISSE 3.625 290117	特殊債券(除く金融債)	3.625	100	99	15,719	2029/1/17
SOCIETE 3.625 260731	普通社債券(含む投資法人債券)	3.625	300	299	47,126	2026/7/31
国 小 計	-	-	-	-	829,092	-

作成期 銘柄	当期末					
	種類	年利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(オランダ)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
NETHER 0 270115	国債証券	-	515	468	73,656	2027/1/15
NETHER 0 380115	国債証券	-	612	387	60,919	2038/1/15
NETHER 0 520115	国債証券	-	156	65	10,311	2052/1/15
NETHER 2.5 300115	国債証券	2.5	154	149	23,575	2030/1/15
NEDER 0 261116	特殊債券(除く金融債)	-	553	498	78,465	2026/11/16
国小計	-	-	-	-	246,928	-
(スペイン)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
SPA GOVT 0.8 290730	国債証券	0.8	391	335	52,845	2029/7/30
SPA GOVT 1.9 521031	国債証券	1.9	304	178	28,117	2052/10/31
SPA GOVT 2.8 260531	国債証券	2.8	903	887	139,708	2026/5/31
SPA GOVT 3.45 430730	国債証券	3.45	240	210	33,184	2043/7/30
SPA GOVT 3.55 331031	国債証券	3.55	1,228	1,194	187,942	2033/10/31
SPA GOVT 3.9 390730	国債証券	3.9	196	187	29,542	2039/7/30
国小計	-	-	-	-	471,340	-
(ベルギー)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BELGIUM 0.35 320622	国債証券	0.35	641	497	78,301	2032/6/22
BELGIUM 0.9 290622	国債証券	0.9	329	291	45,860	2029/6/22
BELGIUM 3.3 540622	国債証券	3.3	226	200	31,511	2054/6/22
BELGIUM 3.45 430622	国債証券	3.45	146	137	21,682	2043/6/22
国小計	-	-	-	-	177,356	-
(オーストリア)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
AUSTRIA 1.5 470220	国債証券	1.5	184	122	19,311	2047/2/20
AUSTRIA 2.1 1170920	国債証券	2.1	77	49	7,767	2117/9/20
AUSTRIA 2.9 290523	国債証券	2.9	119	117	18,475	2029/5/23
AUSTRIA 2.9 330220	国債証券	2.9	358	344	54,143	2033/2/20
国小計	-	-	-	-	99,697	-
(フィンランド)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FINNISH 0.125 520415	国債証券	0.125	105	42	6,714	2052/4/15
FINNISH 2.875 290415	国債証券	2.875	97	95	15,024	2029/4/15
FINNISH 3.0 330915	国債証券	3.0	136	131	20,750	2033/9/15
国小計	-	-	-	-	42,488	-
(アイルランド)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
IRISH 1.3 330515	国債証券	1.3	340	286	45,020	2033/5/15
IRISH 1.5 500515	国債証券	1.5	77	48	7,700	2050/5/15
国小計	-	-	-	-	52,720	-
(その他)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
CADEPO 1.125 270406	特殊債券(除く金融債)	1.125	890	817	128,625	2027/4/6
CPPIB 0.25 270406	特殊債券(除く金融債)	0.25	658	587	92,503	2027/4/6
ONTTFT 0.5 250506	特殊債券(除く金融債)	0.5	414	392	61,745	2025/5/6
ONTTFT 1.85 320503	特殊債券(除く金融債)	1.85	362	309	48,737	2032/5/3
CMCSA 0 260914	普通社債券(含む投資法人債券)	-	275	245	38,618	2026/9/14
GENERAL 1.0 250224	普通社債券(含む投資法人債券)	1.0	200	191	30,057	2025/2/24
国小計	-	-	-	-	400,287	-
通貨小計	-	-	-	-	3,475,317	-

作成期 銘柄	当期末					償還年月日
	種類	年利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)		%	千ポンド	千ポンド	千円	
GILT 0.875 330731	国債証券	0.875	195	140	25,538	2033/7/31
GILT 3.25 440122	国債証券	3.25	84	66	12,143	2044/1/22
GILT 3.75 380129	国債証券	3.75	136	122	22,286	2038/1/29
GILT 3.75 531022	国債証券	3.75	613	507	92,256	2053/10/22
GILT 4 631022	国債証券	4.0	337	291	53,040	2063/10/22
GILT 4.125 270129	国債証券	4.125	218	214	39,068	2027/1/29
GILT 4.25 461207	国債証券	4.25	234	214	38,920	2046/12/7
ONT 0.25 261225	地方債証券	0.25	862	741	134,784	2026/12/15
INTL FINANC 2.875 241218	特殊債券(除く金融債)	2.875	300	291	52,919	2024/12/18
DANSKE BANK 4.625 270413	普通社債券(含む投資法人債券)	4.625	100	96	17,544	2027/4/13
MET LIFE 4.125 250902	普通社債券(含む投資法人債券)	4.125	135	131	23,821	2025/9/2
NYLIFE 1.5 270715	普通社債券(含む投資法人債券)	1.5	265	230	41,874	2027/7/15
通貨小計	-	-	-	-	554,198	-
(スウェーデン)		%	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ	千円	
SWEDEN 1.75 331111	国債証券	1.75	1,645	1,479	20,093	2033/11/11
通貨小計	-	-	-	-	20,093	-
(ノルウェー)		%	千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ	千円	
NORWAY GOV 2.0 280426	国債証券	2.0	1,009	929	12,721	2028/4/26
NORWAY GOV 3 3300815	国債証券	3.0	2,280	2,120	29,001	2033/8/15
通貨小計	-	-	-	-	41,723	-
(デンマーク)		%	千デンマーククローネ	千デンマーククローネ	千円	
DENMARK 4.5 391115	国債証券	4.5	1,012	1,185	25,019	2039/11/15
通貨小計	-	-	-	-	25,019	-
(ポーランド)		%	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ	千円	
POLGB 1.75 320425	国債証券	1.75	224	164	5,802	2032/4/25
POLGB 2.5 270725	国債証券	2.5	935	846	29,878	2027/7/25
POLGB 6.0 331025	国債証券	6.0	246	249	8,786	2033/10/25
通貨小計	-	-	-	-	44,468	-
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
AUD GOV 0.5 260921	国債証券	0.5	376	340	32,106	2026/9/21
AUD GOV 1.75 510621	国債証券	1.75	147	77	7,311	2051/6/21
AUD GOV 2.75 291121	国債証券	2.75	914	844	79,655	2029/11/21
AUD GOV 3.0 470321	国債証券	3.0	286	211	19,955	2047/3/21
AUD GOV 3.5 341221	国債証券	3.5	234	213	20,125	2034/12/21
通貨小計	-	-	-	-	159,153	-
(ニュージーランド)		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
NZDGOV 2.75 510515	国債証券	2.75	248	148	13,093	2051/5/15
NZDGOV 3.5 330414	国債証券	3.5	370	317	28,022	2033/4/14
NZDGOV 4.25 340515	国債証券	4.25	558	502	44,436	2034/5/15
通貨小計	-	-	-	-	85,552	-
(シンガポール)		%	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円	
SINGAPORE 1.875 511001	国債証券	1.875	52	40	4,475	2051/10/1
SINGAPORE 2.625 320801	国債証券	2.625	229	216	23,678	2032/8/1
SINGAPORE 2.75 420401	国債証券	2.75	91	85	9,311	2042/4/1

作成期 銘柄	当 期 末					
	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(シンガポール) SINGAPORE 2.875 290701	国債証券	% 2.875	千シンガポールドル 272	千シンガポールドル 266	千円 29,081	2029/7/1
通貨小計	—	—	—	—	66,547	—
(イスラエル) ISRAEL 1.3 320430	国債証券	% 1.3	千イスラエルシケル 100	千イスラエルシケル 80	千円 3,045	2032/4/30
ISRAEL 1.5 370531	国債証券	1.5	494	353	13,303	2037/5/31
通貨小計	—	—	—	—	16,348	—
(中国オフショア) CGB 2.37 270120	国債証券	% 2.37	千オフショア人民元 7,340	千オフショア人民元 7,317	千円 149,685	2027/1/20
CGB 2.6 320901	国債証券	2.6	5,840	5,781	118,276	2032/9/1
CGB 2.64 280115	国債証券	2.64	14,200	14,253	291,576	2028/1/15
CGB 3.12 521025	国債証券	3.12	600	612	12,521	2052/10/25
CGB 3.53 511018	国債証券	3.53	90	98	2,009	2051/10/18
CGB 3.72 510412	国債証券	3.72	3,430	3,861	78,988	2051/4/12
通貨小計	—	—	—	—	653,057	—
合 計	—	—	—	—	11,512,895	—

## ■投資信託財産の構成

2023年10月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	11,512,895千円	92.5%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	930,138	7.5
投 資 信 託 財 産 総 額	12,443,033	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお、2023年10月16日における邦貨換算レートは1ドル=149.60円、1カナダドル=109.57円、1メキシコペソ=8.2981円、1ユーロ=157.35円、1ポンド=181.72円、1スイスフラン=165.78円、1スウェーデンクローネ=13.58円、1ノルウェークローネ=13.68円、1デンマーククローネ=21.10円、1ポーランドズロチ=35.2814円、1オーストラリアドル=94.32円、1ニュージーランドドル=88.38円、1シンガポールドル=109.21円、1イスラエルシェケル=37.6167円、1南アフリカランド=7.88円、1オフショア人民元=20.4561円です。

(注2) 外貨建資産(11,779,857千円)の投資信託財産総額に対する比率は94.7%です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年10月16日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	18,327,850,897円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	252,451,101
公 社 債(評価額)	11,512,895,449
未 収 入 金	6,476,426,675
未 収 利 息	70,347,451
前 払 費 用	15,730,221
(B)負 債	6,453,220,113
未 払 金	6,453,008,829
未 払 解 約 金	211,181
未 払 利 息	103
(C)純 資 産 総 額(A-B)	11,874,630,784
元 本	3,451,875,993
次 期 繰 越 損 益 金	8,422,754,791
(D)受 益 権 総 口 数	3,451,875,993口
1万口当たり基準価額(C/D)	34,401円

## ■損益の状況

当期 自2022年10月18日 至2023年10月16日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	420,784,225円
受 取 利 息	420,787,912
そ の 他 収 益 金	34,372
支 払 利 息	△ 38,059
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	349,902,972
売 買 益	1,955,928,755
売 買 損	△ 1,606,025,783
(C)信 託 報 酬 等	△ 8,427,489
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	762,259,708
(E)前 期 繰 越 損 益 金	13,869,945,873
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	127,588,569
(G)解 約 差 損 益 金	△ 6,337,039,359
(H)計 (D+E+F+G)	8,422,754,791
次 期 繰 越 損 益 金(H)	8,422,754,791

### <注記事項>

① 当マザーファンドの期首元本額は6,055,427,962円、期中追加設定元本額は58,109,118円、期中一部解約元本額は2,661,661,087円です。

② 当マザーファンドを投資対象とする投資元本額の内訳は、以下のとおりです。

J A 海外債券ファンド：	55,900,069円
J A 資産設計ファンド (安定型)：	9,029,959円
J A 資産設計ファンド (成長型)：	24,972,774円
J A 資産設計ファンド (積極型)：	22,877,671円
J A 海外債券私募ファンド (適格機関投資家専用)：	2,432,566,800円
J A グローバルバランス私募ファンド (適格機関投資家専用)：	906,528,720円
合計：	3,451,875,993円

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換え等によるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) (F)追加信託差損益金とは、追加設定した金額と元本との差額です。

(注4) (G)解約差損益金とは、元本と一部解約時の解約価額との差額です。

原則として、数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で記載しておりますので、合計欄の値が個別数値の合計と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数で記載する場合があります。